

【NODAI Facility Newsについて】

農大各キャンパスにおける施設整備の情報や、工事の内容を皆さんに知ってもらうことを目的として、リアルタイムに発信していきます。第1弾は「世田谷キャンパス新研究棟整備」についての進捗報告です。

1. 過去から現在



▲2003年頃の世田谷キャンパス

現在、世田谷キャンパスの中心に大規模な建物、新研究棟（仮称）が建設中です。皆さんは、その新研究棟建設地に1号館という建物が存在していたことをご存知でしょうか。旧1号館は、当時の講義棟として1956年(昭和31年)に建てられ、長い間、多くの学生の学びの拠点でありました。また、旧1号館には、緑豊かな中庭があり、学生のキャンパスライフの中心でもありました。その後、現1号館の完成によりその役目を終え、2013年(平成25年)に解体され、その跡地は造園科学科の学生たちの手によって、全面芝生のユリノキ広場に生まれ変わり、多くの学生の憩いの場となりました。



▲旧1号館中庭

▲ユリノキ広場

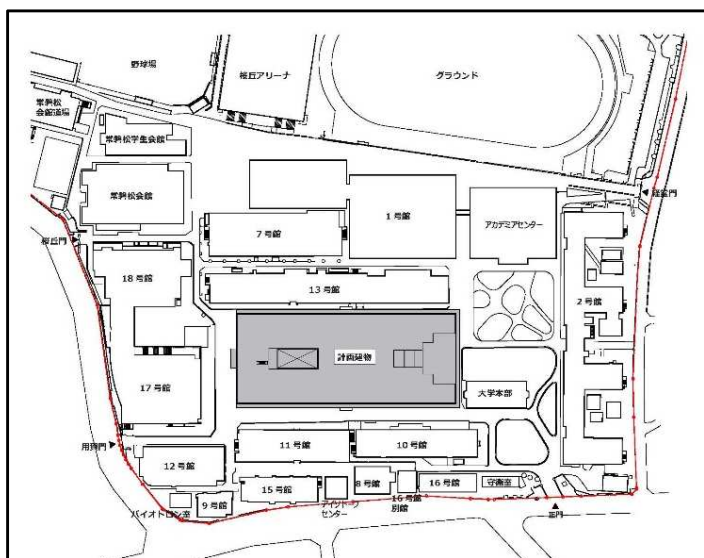


▲旧1号館解体後の世田谷キャンパス



▲旧1号館

多くの学生が旧1号館で学び、ユリノキ広場で友と語り合ったその礎の下、新たな学び舎として新研究棟（仮称）が2019年11月に竣工し、2020年4月より供用開始となります。歴史ある土地に新しく誕生する新たな農大のシンボルに、皆さんの探究心を活用させて下さい。



▲新研究棟（仮称）配置図



▲新研究棟（仮称）完成イメージ

▼新研究棟（仮称）工事スケジュール

項目	2016年			2017年			2018年			2019年			2020年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
基本計画	基本計画（9ヶ月）														
設計業務													設計期間（12ヶ月）		
解体工事													地下解体（4.5ヶ月）		
新築工事													工事期間（20ヶ月）		
													2020年4月 新研究棟供用開始		
													備品搬入・移転		

新研究棟（仮称）は、2016年7月より事業が始動しました。2017年4月までの9ヶ月間、建物の基本的な方針を決めるため、基本計画を策定しました。そして、2017年4月より12ヶ月の設計期間を経て、2018年4月より工事が着工。2019年11月末の竣工へ向け、現在の工事へと繋がっています。

2. 工事の経過

2017年11月から旧1号館の基礎解体工事が始まり、2018年9月から6ヶ月間の鉄骨工事を経て、現在は外装・内装工事を中心に進捗しております。今後は内装仕上と共に外部足場解体、インフラ整備、外構工事を実施する予定です。



▲2017.11末 旧1号館基礎解体工事



▲2018.04末 杭工事



▲2018.08末 地下躯体工事



▲2018.09末 鉄骨工事



▲2018.10末 鉄骨工事



▲2018.11末 鉄骨工事



▲2019.1末 鉄骨工事



▲2019.3末 鉄骨工事完了



▲2019.5末 外装工事

3. 工事の進捗

建物の建設工事は、着工から16ヶ月が経過し、現在は内装工事に取り掛かっています。壮大な仕上がりを見せている外観は、キャンパス内の調和を維持するために、既存建物の共通デザインコードである「土」をイメージし、農大らしい力強い風格と、研究棟の機能美が感じられる外観として創造されています。また、7月15日(月)から7月24日(水)にかけて、世田谷キャンパスの教員を対象とした見学会を開催しました。



▲教員を対象とした現場見学



▲施工中の大階段



▲東側外観

【問合せ先】
 学校法人東京農業大学施設部施設課
 東京都世田谷区桜丘1-1-1（農大アカデミアセンター8階）
 TEL：03-5477-2212 Mail：shisetsu@nodai.ac.jp